

第3回 明峰小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成 23 年 12 月 16 日（金）

午後 19 時～21 時

場 所：明峰公民館

参加人数：18 名



1 グループワーク

本日は、第 2 回目で検討した「ありたい姿」の実現にむけて、「どういう取組みをしていくべきか」、また「その主体は誰なのか」について意見交換を行った。

その後、「地域のありたい姿」を総称するもの、またその実現に向けた活動の方針などを表すものとして「キャッチフレーズ」を作成した。

《A 班》 藤本さん、植杉さん、大藪さん、熊田さん、藤原さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
交通に利便のまち	公共交通が充実しているまち / 住民にやさしい道路のあるまち <ul style="list-style-type: none"> バス回数（南北）が多い 駅前に駐車場が多く、車移動が便利 バスの代金の手頃 陸橋にエレベーターがある 遠回りしなくても道路を渡れる横断歩道がある 川西文化会館へのバス便が十分にある 道路規制が少ない 道路と歩道がキレイに整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> 問題のある道路（狭い歩道など）の整備（行政） 阪急バスに一方通行ではなく両方向に運行してもらおう（行政）
地域とのつながり	皆が笑顔で挨拶を交わすまち <ul style="list-style-type: none"> 盆踊り、餅つき、運動会、ゴルフ、ハイキング等行事がさかんなこと スポーツのつながりをもっと深くしたい イベントが盛りだくさんで楽しい（スポーツ大会、まつりなど） 地域の力を地域の学校に出して欲しい 近所に一杯飲み屋がある “皆”自治会員 / 皆でまちづくりに取り組んでいる 皆が笑顔で挨拶を交わしている 助け合い等のボランティア活動人が多い 仲良しグループをもっと作りたい 今風向う三軒両隣の復活 	<ul style="list-style-type: none"> 皆が自治会員となるような条例を作る [行政] 公園に寄りやすくする（藤棚等）[行政 / 地域] 住民が参加しやすいイベントを開催する [地域] 盛大なスポーツ大会を考える [地域] 気軽に誰とでも挨拶する [個人] 大人から子どもに声かけをする [個人]

テーマ	ありたい姿	取り組み
豊かな自然	<p>自然環境に恵まれたまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代風の遊具がおいてある公園がある ・ 四季を感じる事が出来る ・ 公園にいつもたくさんの人がいて交流が図れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向う三軒両隣をもっと広げる〔個人〕 ・ 街路樹を楽しむため、あまりばっさり切りすぎない〔行政〕 ・ 公園等に明確な標識を整備する〔行政〕 ・ 散歩道は安全性だけを考慮したのであれば良い〔地域〕 ・ 散歩ルートを整備する〔地域〕 ・ 自然保護と新たに自然を作るのは別として行う〔地域〕
子育てのしやすいまち	<p>地域の子どもは地域で育てるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代が親子で楽しめるスペース（談話室風） ・ 児童館が欲しい ・ 地域の子どもは地域で育てる ・ もっと子どもと接する ・ 校舎も新しくしてきれいな環境にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代の人用の交流の場や設備を設ける〔行政〕 ・ 児童館が欲しい〔行政〕 ・ 子育て交流広場をもっと作る〔地域〕 ・ みんなで保育（参観時も）〔地域〕
安全安心のまち	<p>防犯、防災のしくみができているまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯・交通安全対策に熱心 ・ 災害等いざというときに「ご近所力」がある ・ 災害時避難場所を大きく考えてはどうか（川西全体） ・ 避難所の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察と連携した自主パトロールの実施〔地域〕 ・ 自主防災マップを作成する〔地域〕
高齢者、障がい者が安心して暮らせるまち	<p>高齢者、障がい者が安心して暮らせるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民病院の出先としての診療所 ・ 近所にクリニックが欲しい ・ お年寄り、障がい者が安心して暮らせる ・ 後期高齢者はバスが無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が喜ぶ施策（バス料金無料券発行）〔行政〕 ・ 高齢者の集いの機会をもっと増やす〔地域〕 ・ 生活支援ボランティアを増やす〔地域〕 ・ 自家用車ボランティアの普及〔地域/個人〕

テーマ	ありたい姿	取組み
そのほかの意見	中学校給食のあるまち / 地域でマナーが守られているまち <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校給食のある地域 ・ ゴミの出し方がもう少し丁寧 ・ 若い世代の人達が住まう ・ 近所で日常雑貨が買える ・ テレビの映りが良い / 電波が強い ・ 地産地消が意識されている 	-

【決まったキャッチフレーズ】

<p>“ 田舎の都会 ”</p> <p>自然に恵まれ、利便性のあるやさしいまち明峰！！</p>



《B班》 藤井さん、森川さん、辻さん、福本さん、篠崎さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
交通の便の良さ	交通手段の充実したまち / いつでも気軽に外出できるまちに <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で動きやすい交通を ・ 交通の便がよいまち ・ 東西を行き来する道がある（南北方向の道しかない） ・ インフラが整ったまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの路線に関して、行政と関係者での改善委員会を設け、検討を行う [行政 / 地域]
世代間の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代間の交流ができる居場所があるまち ・ 近所付き合いのある隣近所にする ・ 若者（現役世代）が住みたくなるまちに 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの充実 [地域]
安全安心な環境	犯罪と防災に強いまちに <ul style="list-style-type: none"> ・ 交番所が多くて安心 ・ バイクでのパトロール強化 / 防犯安心のまち ・ 安全灯がつけられている ・ 自主防災活動が活発 ・ 24時間対応の避難場所が多くある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察の区域を再検討してもらおう（防犯、交番等の対策区域） [行政]

テーマ	ありたい姿	取組み
高齢者の住み良さ	<p>高齢者が健康で安心して住めるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や幼児を対象とした無料のデイサービスがある ・ 高齢者の情報が共有できる ・ 高齢者が安全 ・ 高齢になっても安心して暮らせる（買い物、医療、外出が便利） ・ 高齢者が気軽に外出できる ・ 世代間交流の充実により活性化を図り、若者が呼び込める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症、徘徊者のネットワーク、連絡網の整備[地域] パソコンの活用（GPS等）による位置管理[行政] ・ イベントに参加しない高齢者への声かけ方法を考える[地域]
障がい者の住み良さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症に理解のある人が多い ・ 認知症予防教室に参加できる ・ 認知症の人が安心して外出できる ・ 障がい者が気兼ねなく外出できるサポートがある ・ 地域福祉が整備されている 	-
子育てのしやすさ	<p>中高生から高齢者まで子育てしてかかわるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者も子育て支援に参加できる ・ 中高生が子育てに関わる ・ 幼児や小学生までのこどもが安心して遊べる場の確保 ・ 保育所、幼稚園が多い（若い世代が住みやすい） ・ 子育て中の親が気軽に集える場がある ・ 子どもの安全を見守る組織がある ・ 子どもが野球やサッカーの出来る公園がたくさんある ・ 公立の保育所がたくさんある 	-
豊かな自然（閑静）	<p>みどりと小鳥の多いまちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな住宅地を守っていく ・ 自然（雑木林、田んぼ他）の保存を拡充していく 	-
自治会が活発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会館が増える ・ 共働きが多くても自治会活動が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会への若者の参加を増やす方法を考える[地域]
買い物が便利	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町中にコンビニがある ・ 買い物の便がよい 	-
医療環境が整っている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町医者がある ・ 大きな病院がある ・ 休日、夜間診療が対応できる機関がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政と医師会の協調により医療環境の充実を図る[行政]
そのほかの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内に利用できる公衆トイレが多い ・ 地区の規約を守る地区計画がある 	-

【決まったキャッチフレーズ】

石切山、釣鐘山の豊かな自然にふさわしい“三世代交流のまち明峰”



《C班》 石井さん、渡辺さん、寺田さん、久馬さん、米田さん、菅原さん、下堂さん、佐伯さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
地域のつながり	<p>誰もがふるさとと呼べるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政、自治会をPRできる掲示板がある 高齢者が外へ出るような活動 隣ボ（保）の環境づくり 行事に一人ではなく、家族友人を連れて行く 組織があるためイベントにより、地域住民とのつながりが出来る 地域につながりができる 近所との話し合い 他市にない組織、つまりコミュニティ、自治会組織があって、地域住民とのふれあいができる 夫が妻と子どもも連れてイベントに来る 趣味のグループの創造を今より多く 人の輪をつないで地域づくり 自治体行事に積極的に参加 高齢者の現サークルの拡大化を通じサークル活動を作り出す 町中で小さな子どもたちに声をかける 身近な所から助け合いを行う 温かい人の交流がある ボランティア活動に積極的に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 市有地を活用した活動拠点を確保する [行政/地域] 資源の有効活用をする 意見を聞いてメニューを作る（貸し農園等）[行政/地域] 地域通貨を作る [地域] 高齢者の人材バンク（魅力ある文化活動メニューを増やす、簡単な電球替えをしてもらう、植木の剪定をしてもらう等） [地域]
子どものしつけ	<p>世代を超えて子どもを育む元気なまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを叱る人間になりたい 子育てが安心してできる場所、環境 譲り合いの心を育てる 子どもをみんなで育てる / よその子も自分の子のように叱る 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代が生活できるようにする [地域] 大きな声であいさつをし合う [地域]

テーマ	ありたい姿	取組み
買い物の利便性	<p>身近なエリアで生活できるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物がしやすい(行きやすい)場所がある ・ 日常の買い物が簡単にできる ・ 生活が便利なまち ・ 活力のあるまちにする(滞在のまち) ・ 障がい者、高齢者が住める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動販売(コープ、自治会、軽トラ)[行政/地域] ・ 高齢者のゴミ出しを地域で支える[地域]
安全、安心	<p>安全を守り、命の大切さを知るまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが安全に通学できる道路 ・ まず安全安心なまちづくりをする ・ 自転車利用の規制(法律等) ・ 災害時の助け合い組織の構築 ・ 犯罪がなく安心して住める ・ 安全の自己防衛 ・ 地域(安全)情報が伝わりやすい ・ 小さい地域単位での防災訓練を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の通報(警報)連絡網(連絡手段)を作る[行政/地域] ・ 防犯カメラを設置する[行政/地域] ・ 地区を細かく分けてパトロールする(リタイヤ層に参加してもらう)[地域] ・ 犬の散歩でのパトロール[地域] ・ OB および女性消防団を作る(自主防災会の活用)[地域]
そのほかの意見	<p>暮らしの環境を自分たちが作っていくまち/魅力ある文化を育むまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大手開発による住宅建物であるため、住みやすい ・ 自然を自分の庭のつもりでウォッチ、メンテナンス ・ 環境と生活(健康の)調和 ・ 子どもたちが安心して遊べる場所(公園等) ・ 子どもの遊び場所の充実 ・ 公園の砂場の清掃(犬の糞等) ・ 公園を自由に楽しめる設備が欲しい(制約ばかりが多い) ・ 鳥の鳴き声を聞くことができる ・ スポーツ施設が近くに欲しい ・ 映画等の暮らしが楽しめる所が多い ・ 人が集まりやすい場所がある(ぶらっと出かけたなら人がいる) ・ 自治会館施設が充実している(人がいる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園を整備する(整備:行政/管理:地域)[行政/地域]

【決まったキャッチフレーズ】

地域資源を使いこなして、みんなが参加するまちづくり
-人材、文教福祉施設、自然環境、まつりを活用したまちづくり-



2 各班の発表概要

A 班

- ・ 皆で何故明峰地区に住んでいるを考えた所、交通の便が良い一方で、閑静でもあるという意見がでた。こうしたことから「田舎の都会」というキャッチフレーズが生まれた。
- ・ 地域でやっていくことは、人と人のつながりの点で、イベントの開催や子どもの挨拶運動、子育て交流広場を増やしていく等、一部の人がやっていることをみんなに広げていくことで実現していきたい。
- ・ 防犯、防災については、防災マップを作る、従来の自主パトロールについて、警察と連携を行うなどの取り組みをしていきたい。



B 班

- ・ キャッチフレーズを実現するためには、交通の便の改善が一番必要だ。若い人の流入や買い物の便、医療の問題にもつながっていく。
- ・ 町医者が欲しい。行政には是非働きかけを行って欲しい。
- ・ 交番所の不在は長い間言われているが、防犯を解決するには不可欠な問題だ。
- ・ イベントに来る人が決まってしまうので、地域で不参加の方への接触を増やしていくことが必要だろうという意見が出た。



C 班

- ・ 公民館だけではなく、私有地、市有地などの有休土地をもっと有効に活用して地域のつながりをつくっていききたい。
- ・ 家族の中だけではなく、地域でアットホームなつながりを作っていくことで、福祉的な負担が少なくなっていくようにしたい。
- ・ 災害時に備えた地域での防災システムを考えたい。
- ・ 地域資源という言葉をも、人的な資源、祭りや地蔵盆のような文化、教育といったものも含めてキャッチフレーズに盛り込んだ。



3 おわりに

最後に、市：本荘総合政策部長よりひとこと。

- ・ 皆さんの気持ちを大切にしながら、明峰のキャッチフレーズ案を作っていきたい。
- ・ 大事なのはきれいなキャッチフレーズを作っていくことではなくて、地域のいい所、悪い所を含めてこういった場で共有していくことが一つ、それから地域でしかできないこと、行政でしかできないこと、行政と地域が協力するともっと良い効果が生まれることをはっきりさせていくことであると考えている。皆さんだけではなく、川西市の職員全員がそういった意識を持てるように市の方も頑張っていきたい。